

DCF法による評価の前提条件(6) 薬品事業

●加重平均資本コスト

エクイティ・コスト	Adjusted Risk Free Rate ¹ 2.68%	ベータ値 ² + 0.55	マーケットリスク プレミアム ³ 6.29%	Small Business Premium ⁴ + 3.00%	= 9.15%
デット・コスト	Adjusted Risk Free Rate (2.68%	スプレッド ⁵ + 3.51%	(1-税率) 59%		= 3.67%
加重平均資本コスト	想定最適D/Eレシオ ⁶	-15%	とすると	とすると	10.12%

(注)

- 1 日本におけるリスクフリーレートは、長期国債利回りに将来のイールドカーブ等を勘案して算出。
- 2 ベータ値(レバレッジ勘案後)については、類似企業会社のベータモデルによるベータ値を採用(但し、異常値を除く)。
- 3 マーケットリスクプレミアムは、1955年-2005年における算術平均(対10年国債)を採用(出所: Ibbotson)。
- 4 Small Business Premiumは、Ibbotson AssociatesのSBB1 Valuation Edition 2005 yearbook, 2005を参考にして総合判断
- 5 社債利回りと10年物日本国債の最終利回りの差等を加味し、総合判断。
- 6 想定最適D/Eレシオについては、類似企業会社の時価ベースのD/E比率の平均値及び中央値(いずれも異常値を除いて算出)等を勘案して総合判断。